

スタッドレスタイヤお預り出来ます



山本自動車工業
代表の山本宰士です

あんなに暑かった夏が懐かしく思えて来る今日この頃。休日の夕方涼しい格好していたら「へっきーん！」3連発。

さて、夏の時期ならスタッドレスタイヤが、雪の時期には夏用タイヤが、皆さんのあうちで場所をとり、一年中眠っていることと思います。弊社には、この乗用車用のオフシーズンタイヤを、お預りするサービスがございます。今日はこのオフシーズンタイヤのお預りサービスのご紹介です。

ドッスン ダッダーン ゴロゴロ、



体力勝負！根性で整理整頓だ
4本ごとに名札で管理します

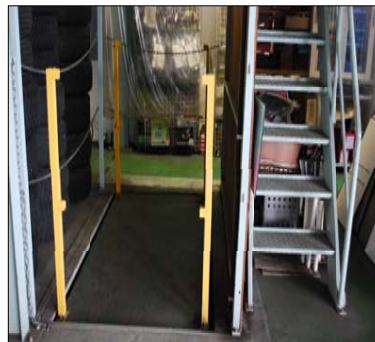
床が板張りの、2階のお預りタイヤ専用保管庫で、タイヤを積み下ろし、転がす音が響きます。

「フンッ！ ヨッ！ ヨイッショッ！！」スタッフの力が入った声も聞こえます。「うわぁ、おっめーええ力してるのぉ～ 腰が砕きゃあへんかあ？ 柔おーさげーみー」すっかり腰が砕けて久しい私は、預かったタイヤを積み上げる勇樹を見上げ言います。

「〇〇さんのムーヴのも降ろしてえ～ あと〇〇さんのカローラも～ 「オッケー！」工場の上と下で叫び合います。

「上原くーん 〇〇さんのナットはあ～？」「ええーっと、たっしっか、スベアタイヤの下、袋に入れて積んであるはずー」「オッケー！ あったー」あなたのクルマはナットがクルマのどこに積んであるか、良く知っている上原このやり取りです。

2階のタイヤ保管庫に上げ降ろしする油圧リフトの作動音が“チュイーン”と聞こえます。ピーッピーッ！と安全のため、リフトの作動を知らせるブザーも響きます。クルンクルンッピカッピカッ！ ブザーと一緒に黄色の回転灯も回ります。タイヤ保管庫も工場も賑やかになります。我が社の冬と春の風物詩です。



リフトと保管庫への階段
専用リフトで2階へ運びます

一旦は止めたお預りサービスですが、

私が山本自動車工業で働き始めたのは平成2年の1月。その頃といえば、旧工場の中2階にお客様の預かりタイヤがダァッとたっくさんありました。この頃は特に決まった料金も載せておりませんでした。ところが、ある年からタイヤの預かりは一切中止にしました。

問題は4つありました。

- * 保管スペースに限界があった。
- * 不要になったタイヤが何年も置きっぱなし、誰のタイヤか分からないこともあり、処分も出来ない。
- * つまりらっしゃあわやになり更にスペース不足になる。
- * お客様に頼まれ、なんとなく預かってしまう。お預りする場合と、お断りする場合の線引きも曖昧。結果、お客様に対して不公平になる。「これではいけない」と、ある時期、徹底的にお預りをお断りしました。そして遂にすっきり！お預りのタイヤが一切なくなったわけです。

ところが・・・

ある年の秋、とあるお客様がスタッドレスタイヤへ交換のため、ご来店くださった時のことです。

車はMPV。ミニバンと呼ばれる結構大きなこの車に、やはり大きなタイヤを積み込んでのご来店でした。このご家庭では、ご主人は出張が多いため、お越しくくださったのは奥様と姑さま。どちらも小柄な方です。

「これって家に帰っちゃったらまた二人で降ろしてどっかに片付けてんかあ、、、」タイヤ交換の作業後、とても抱えることの出来ない大きく重いタイヤを、お車の後ろに積み込まれるのを、お手伝いして思ったのです。

『こがあな場合は預かったげたいよのお、、、』

『もう一度、今度はちゃんとした形でお預りサービスを考えにゃあいけんかのお、、、』という思いが私の頭をよぎったのは、ごく当然のことでした。

これが現在のタイヤお預りサービスを始めるきっかけになりました。それから弊社の正式なサービスとして導入するまでにそう長くはかかりませんでした。

新しいサービス開始のルール

新しいサービスではお客様に不公平がおこらないように、一定のルールを設けることにしました。そして、タイヤ保管のための専用保管庫を作りました。

新しいタイヤお預りサービスのルールは裏ページを読んでください。



新しい、タイヤお預りサービスのルール

- お客様に不公平にならぬよう、一定のルールでお預りする。
- タイヤの大きさは乗用車用及び750kg積みトラックまで
- 単に予備として持っておられるタイヤはお預りしない。
- 弊社でのご購入を伴わないお預りはしない。
以前ご購入いただいているタイヤはOK
- 後日ご購入の場合もお預りはしない。
- 料金のルールを明瞭にすること。
1：お預り1回(出し入れする毎に発生)1本200円とする。
2：女性と60歳以上の方には割引を設ける。
- 保管場所に限界があるので、山本自動車のスタッフは利用不可。
「お金を払うから置かせて」という私(社長)の妻の申し出も断ったほどです。

こうして当店のオフシーズンタイヤお預りサービスは始まりました。
ところが、保管場所が足りなくなるのは時間の問題だったのです。

昔は、工場の一部に置いていただけでしたが、今では専用リフトを設置し、2階に増築した専用のタイヤ保管庫に保管しています。
風雨はもちろん、日差しも当たらない自慢の保管庫です。

タイヤの性能や寿命は、保管方法でも変わってしまいます。

当たり前のことですが・・・
タイヤはゴムで出来ています。ですから風雨や日差し(紫外線)にさらされると劣化してしまいます。硬く、そしてまろく割れやすくなってしまいます。輪ゴムが古くなるとカピカピになって切れる様です。

硬く、もろくなったタイヤはひび割れを起こしたり、スリップしやすくなります。
こうなってはせっかくのタイヤが台無しです。



良く見ると「ゲゲッ!」こんなところにも。
写真に写らない小さなヒビもいっぱいだ。



いくら地球温暖化でも、降るときゃ降る。
「ギュギュッ!」と効くタイヤで走りたいですね。

当社のタイヤ保管庫はタイヤの性能を守るように考えています。

当店では単にタイヤを預かるだけではありません。 自動車整備と販売のプロとしての経験を活かします。

通常、タイヤ交換にご来店された場合の手順は・・・
まずお客さまがお持ちになったタイヤをお車から降ろして、タイヤの状態を調べます。
*溝の深さは必要なだけあるか?
*製造から何年経っているか? ゴムが硬くなっていないか?
*ゴムが劣化して発生するひび割れが無いのか?
*タイヤの横など鋭利な物で傷が入っていないか? 釘などが刺さっていないか?
*空気を入れるバルブからの空気漏れがないか?
*バルブの付け根がゴムの劣化で亀裂が入っていないか?
などの状態を確認したうえで、空気圧の調整をします。ここまでやってやっとタイヤ交換の準備が出来るんです。もちろんプロの仕事ですからあっという間に済ませはするのですが、それでも4本あればこの準備までで最低でも10分はかかります。



トルクレンチという専用工具で、一定の強さに締め付ける。強すぎても弱すぎてもいけないし、勘だけに頼らないのはプロとして当然だ

ところが、タイヤをお預けいただいている場合は2~3分で完了です。 タイヤお預りサービスをご利用頂くと、タイヤ交換が早い!

ご来店をあらかじめお電話でお知らせいただいでおくだけで、先に書いた交換準備はすでに済ませておきますので、ご来店されたら、即交換。だからとっても早いです。どれくらい早いかというと、時間にして最も早いケースなら2~3分で完了です。

つまり・・・「それでは中の待合でお待ちください」とお伝えして、お客さまが美味しいコーヒーを一口すすられた頃には・・・
弊社スタッフ「お待たせしました。作業が完了しました」
お客様「え?もう?」
というくらい早いんです。(もちろんホイールへの組み換えを必要とする場合や、作業が集中して順番待ちの場合は除きます)

このたび30台分の空きスペースが出来ました。

今の時期でもスタッドレスタイヤのお預りが出来ます。冬まで待たなくても、今回タイヤのお買い上げを伴えばお預り出来ます。夏用タイヤのご購入でも大丈夫です。このたび保管倉庫のレイアウトを変更して、30台分の空きスペースができました。タイヤのご購入をお考えの方、ぜひ当店のタイヤお預りサービス併用をお考えください。

日曜祝日も営業しています
※第1と第3日曜日は定休日です
山本自動車工業(株)
神石郡神石高原町上2617番地
0847-85-2237
スタッドレスタイヤのお預り出来ます

山本自動車は湯っ蔵さんわ
さんから2キロです!